

館・園紹介 No 18

炉畑縄文遺跡公園

〒504 各務原市那加桜町1 各務原市教育委員会社会教育課
TEL. 0583-83-1111 (代)

一刻も早い遺跡公園化の充実が望まれる

文化財を楽しむことは、勉学研究の学者や研究者、あるいは一部の愛好家ばかりでなく、社会のひとりひとりの権利であるという確信は、博物館の重要性を増大させ、また、少数エリートだけでなく、地域社会全体をも満足させる博物館であることを要求している。

各務原市が、市内鷺沼三ツ池地内で発見された縄文遺跡を、ただ歴史遺跡だけの保存に終わることなく、遺跡公園づくりを目ざして諸工事を着

手しておられることは、未来に生きる野外博物館づくりの快挙であり、明日の市民の創造生活を生み出す基盤の一つとして、早い完成が望まれる。

昭和43年から5次にわたる発掘調査では、加曾利E式土器をはじめ、石斧・石鏃・耳飾など、多数の土器石器類やどんぐりの炭化物が出土し、ローム層からは円形住居跡群も発見された。

今現場には、縄文時代の家屋復元が行なわれ、

約七千平方メートルの周辺を含めた遺跡公園づくりが進められている。訪れると、生え揃った緑深き芝生の中に、先住民の生活振りを目に浮ばせる素朴な復元住居が立ち並び、人類の歩んできた歴史の重みがひしひしと感じられる。

わたしたち郷土の先住民は、まだ農耕を知る



現場に復元された縄文時代の家屋。まだ市民各層に、巾広く親しまれるまでの、ほんものの教化施設にはなっておらず、自由にいつでも入れないのが残念。

以前、狩猟や採植によって生きてきた。緑深き照葉樹林がうっそうと茂り、森林は秋になると、バラバラと食物を降らしたちがい。照葉樹林の

中ではぐくまれた日本文化・精神生活の原点、自然風土と人間の歴史を見つめなおしてみる遺跡公園たるためには、どうしてもこの地にこそ博物館がほしい。出土品の数々が、市内蘇原支所内に陳列されている現状では、せっかくの文化財、社会の共有財産が泣いている。遺跡公園として完備され、常時公開されることを祈る。見学は、電話で連絡してから。(小野木学芸員)

炉畑遺跡公園づくりに望むこと

岐阜県博物館協会理事

稲羽中教諭・学芸員 小野木 三郎

実物資料を展示して見せる建物が博物館であるというのは、遠い過去のものとなった。地域、地方とか世界の社会に役立つ博物館の機能も、社会の進展とともに移り変わるものである。

自然公園そのものとか、山ひとつ全体こそが博物館資料であるし、古い街並、民家群、遺跡など、野外にあるがまゝの実物こそが博物館資料であると考えられる今日、博物館は、実物と、ヒトとの有機的な活動体であるとも表現できる。

こうしたとき、各務原市が、郷土に残された三ツ池地区の先住民住居跡の遺跡を、歴史公園として整備、保存され、資料館の建設を計画されていることは、各務原市に生まれ、市内で育ち、これからこの市に生きようとするわたしにとっては、この上もない喜びである。

地域社会の全ての人々にこたえ、人間一生のあらゆる機会に遊び心を癒やしながら学ぶことのできる、未来を先取りした社会教育機関、そんな資料館のある公園の早期実現を切望しつつ、博物館学の立場から、次のようなことを望みたいと思う。

① 郷土の発展、郷土づくりは、その根本が教育にあることは自明の理です。今や学校教育さえも、生涯教育の全体構想の中で云々される時代です。歴史公園は、その生涯教育にこたえる公教育機関として、その建設、整備には充分な予算措置をしていただくこと。

※経済第一主義の価値観を改め、物質的豊かさ
と便利さのみに目を奪われることなく、人間としてのほんものしあわせを考え、精神面での福祉社会づくりのために、何よりも優先して実現するためにも。

② 計画されている資料館は、出土品の陳列展示、保管場所だけに終わらせることなく、新しい博物館をめざし、郷土の歴史学習の教育センターとして計画・建設・運営していただくこと。

※専任の学芸員・職員を豊富におかれ、資料の収集・展示・保管・調査研究・社会教育活動・学校教育への援助・文化財の保護センター・情報センターなどの諸機能をじゅうぶんもった未来に生きる機関にするためにも。

③ 公園内には、遺跡の保存だけでなく、当時の自然風土をできるだけ再現・復現するように努められ、シイ・カシ林を造成するなど、先住民の生活のようすが総合的に理解できるようにしていただくこと。

※都市砂漠・文明砂漠へと、鉄とコンクリートの大都会化、工場が立ち並ぶ雑踏化への可能性だけが青年都市の所似ではないはず。郷土の森、市民の憩の森を前向きにつくりだし、緑豊かな生活環境づくりの可能性を秘めてこそ、健全なる青年都市といえます。子孫に誇れる遺産づくりのためにも。

④ 歴史公園の周辺一帯に、むやみと売店、飲食店、遊技場等の消費レジャー施設や住宅が立ち並ぶことがないよう、今から規制条例を制定するなどの方策を考え、周辺の自然風土の保全にも万全を期していただくこと。

※登呂の遺跡を例にするまでもなく、周辺が住宅・ビルディング・売店等でギッシリ埋めつくされては、歴史遺跡が、その背景としての自然風土との調和ある姿を失ってしまい、価値が薄らいでしまう。他界のあやまちを繰り返さないためにも。

生産社会から福祉社会への転換は叫ばれても、物的に豊かになる福祉施策ばかり目について、ほんとうに大切な、人間の精神的福祉施策は忘れられすぎてはいないだろうか。わたしたちの文化的な社会生活の道具であり、大切な心の友だちである博物館づくりこそ、青年都市各務原市で強力に推進されるべき公共事業である。

棚橋源太郎先生を思い出しながら

岐阜県教育委員会

教育長 横山 勉

着任後しばらくして、本紙第19号を拝見し、岐阜県博物館協会が、本県の社会教育ならびに文化財保護等の面において、はば広い活動をしておられることを知り、たいへんうれしく思った次第であります。

老若男女を問わず、みずから進んで門をくぐり、展示物に接して何かを学び、あるいは心を癒すことができる博物館こそ、近頃、その必要性が叫ばれている生涯教育にとって、極めてたいせつな施設だと思っています。

また県内には百近いこのような施設があることも知りました。それぞれの施設がその活動を通じて、県民文化の向上や、社会教育・文化財保護等に寄与していただいているのでありますが、そこには、わたくしなどでは到底わからないご苦心があるものと想像し、改めて敬意を表するものであります。

日本人は博物館を使うことが下手だという話を聞いたことがあります。はたして県民のみなさんは、どのように利用しておられるでしょうか。教育行政にたずさわるものとして、このような点についても、その実態を知りたいと思います。「灯台もと暗し」という言葉があるように、案外県民のみなさんも県内の博物館施設を充分に利用しておられないのではないかと想像します。

今後いっそう余暇がふえ、その知的な活用の方法として、博物館などの文化施設の利用も必然的に増すことになるでしょう。博物館の効果の利用について、学校教育においても社会教育においても、今から計画的に進めていかなければならないと思っています。

わたくしがこどもの頃育った本巣郡北方町からは、みなさまがご承知のように、わが国の博物館育ての親といわれた棚橋源太郎先生が出て

おられます。先生は、物が人に対して訴える教育効果を重視され、そのエネルギッシュな活動を通じて、動的な博物館の運営



を提唱し、それを実践されたと聞いています。いつ行っても、同じ物が同じところに並んでいるようではいけないといって、次々と展示物を取りかえ、展示内容の更新をはかれたそうです。

博物館というと、何だか古めかしさを感じるようですが、もう大正時代にこのような博物館の運営をされた先生は、やはり先覚者の名にふさわしく、本県人の誇りであるといえましょう。本県でも、平野知事の提唱によって、置県百年記念事業のひとつとして、総合博物館の建設を計画し、まもなく造成工事にかかろうとしています。全国に誇り得るりっぱな博物館を設立したいと思っています。

しかしながら、りっぱな博物館の建設は、ひとりこの衝にあたる職員の努力だけでは到底不可能で、博物館協会の方々をはじめ、ひろく県民各位のご協力を切にお願いしなければなりません。

所感の一端をつづり、あわせてご協力をお願いして、ごあいさつにかえます。

図書紹介

富士川金二著 改訂増補博物館学 成文堂刊 定価 1500円。大学での「博物館学」講座の教科書。最も標準的で、博物館のあらゆる領域を網羅し解説している。学芸員の入門教科書。

三 県 内 ニ ュ ー ス

日本自動車館オープン

大野郡宮村、国道41号線沿に1月20日開館。館長は下田優氏。おとな100円、こども50円。総面積1千坪。1936年製ダットサンロードスターはじめ、めずらしい車約20台を展示。産業博物館的運営を今後に期待します。

TEL 宮村局155

竹類見本園改修完成

養老公園にある竹類見本園は、荒れるにまかせられていたが、昭和44年に平野県知事さんが約束されてから4年目、ようやく貴重な品種を保護すべく、コンクリートマスを作って改修工事が行なわれた。竹類研究家・坪井伊助氏愛育の遺品でもある。

岐阜県郷土資料研型懇話会会員募集中

人文科学を中心とした郷土資料研究懇話会が発足。年会費1,000円。詳細は、〒500 岐阜市大宮町岐阜県立図書館内の同会へ問い合わせ下さい。多数加入下さい。

水郷資料館の建設具体化

宝暦治水の偉業をたたえ、海津郡海津町油島地区に予定されている治水公園に、輪中地帯の水屋・民家を移築し、水郷生活の歴史資料を保存展示する計画が進行中。

恵那峡郷土植物園クワ入れ式

恵那峡のさざなみ公園に、シダ園・山草園・湿地園・ドングリ広場・遊歩道を計画。48年度645万円、49年度570万円の予算。6月11日にクワ入れ式を行なった。

加藤陶芸陳列館無料公開さる

多治見市市之倉4、加藤卓男氏は、父祖三代にわたる秘蔵品を展示して、一般に公開された。

陳列館は、福井県大野市郊外の旧家を移築し、内部を改造したもの。ぜせ見学を!!

岐阜県博物館の起工式近し

六月二十二日入札を終えた岐阜県博物館は、八月に起工式が実施され、ツチ音高く建築造成工事にはいる予定。

事務局だより

東海博物館連絡協議会総会に多数参加を

会場 蒲郡市三谷町字南山1-76

愛知県職員蒲郡保養所「あゆち荘」

日程 7月12日(木)

15:00～18:00 総会

18:00より 懇親会(会費1,000円)

※あゆち荘宿泊、(1,500円)

7月13日(金)

8:30～ あゆち荘出発

10:25ヨリ 鳳来寺山自然科学博物館、長篠城趾史跡保存館等見学、15時豊橋駅にて解散。

※参加の方は、愛知県文化会館美術館東博協総会係へ大至急電話連絡を。

TEL 052-971-5511。

編集後記

◎北海道の山では、エゾジカ五頭の群れに会い感激しました。開拓記念館では、日本の博物館界の最先端に行く充実した内容を眼前にして、岐阜県博物館の内容に思いをめぐらしました。網走へ、釧路へ、小樽へ……どこにも資料豊富な公共郷土博物館があるのにビックリ……早くから開けた本州の中央岐阜県……ここでは公立博物館の現実はまさに後進県。この原因はどこに？
◎そんな意味からも、本号では各務原市を例にして、精神的文化福祉事業をこそ優先すべきと叫んでみました。博物館は、文明社会の公器であるのです。(小野木学芸員)